

宮城県感染症発生動向調査情報(第29週)

宮城県【平成25年07月25日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.7.15 ~ 7.21 ・ 第29週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市			第26週	第27週	第28週	第29週
水痘	8 1.60	8 0.80	3 0.60	1 0.50	4 1.33	13 2.60	4 2.00	18 0.69	59 1.02	2,305	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		5 0.50	1 0.20		2 0.67	1 0.20	3 1.50	9 0.35	21 0.36	669	○ →	レ →	○ →	レ
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	13 2.60	17 1.70	10 2.00	8 4.00	17 5.67	9 1.80	5 2.50	66 2.54	145 2.50	11,391	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	7 1.40	21 2.10	4 0.80	2 1.00	2 0.67	6 1.20	1 0.50	82 3.15	125 2.16	543	○ →	○ →	○ →	◎
伝染性紅斑		1 0.10					3 1.50	2 0.08	6 0.10	365	→	→	→	
突発性発しん	2 0.40	6 0.60	5 1.00		2 0.67	3 0.60	1 0.50	13 0.50	32 0.55	1,055	○ →	○ →	○ →	レ
ヘルパンギーナ	3 0.60	41 4.10	5 1.00	11 5.50	19 6.33	10 2.00	2 1.00	60 2.31	151 2.60	491	○ →	◎ →	◎ →	◎
インフルエンザ	1 0.13								0.01	15,675	→	→	→	
咽頭結膜熱	3 0.60		1 0.20			1 0.20		13 0.50	21 0.36	561	○ →	○ →	○ →	レ
流行性角結膜炎		3 1.00	1 1.00					1 0.17	5 0.42	99	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.20	11 1.10	2 0.40	2 1.00	5 1.67	22 4.40		35 1.35	83 1.43	3,275	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			1 1.00						1 0.08	8	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		4 4.00	2 2.00	1 1.00		2 2.00	4 4.00	3 0.60	16 1.33	577	○ →	○ →	レ →	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								3 0.60	3 0.25	19	→	→	→	
RSウイルス感染症		1 0.10	3 0.60					12 0.46	16 0.28	302	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	1			1	1				流行の変化について、今後の情報に十分注意 発生または流行について、今後の情報に留意 し、発生が少なくなっている傾向			
川崎病											【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
不明発疹症								3						

今週の全数報告疾病

- *男児、女児は6歳未満
- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 男性1名(第28週)
 - 登米管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名、女性3名
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)
 - 仙南管内 男性1名
 - 腸管出血性大腸菌(O157)
 - 大崎管内 *男児1名
 - 腸管出血性大腸菌(O111)
 - 仙台管内 男性1名
 - 4類感染症: レジオネラ症
 - 塩釜管内 男性1名(第27週)、男性1名
 - 仙台管内 男性1名、女性2名
 - 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名(第28週)
 - 梅毒
 - 仙台管内 男性1名(第28週)
 - 風しん
 - 仙台管内 男性1名(検査診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【ヘルパンギーナ】

登米管内で警報値を超えた。

【風しん】

今週あらたに1例の報告があり、2013年の累積報告数は94例となった。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

呼吸器感染症患者の集団発生事例より

栗原管内 第29週採取分 ライノウイルス 1件

腸管出血性大腸菌患者より

大崎管内のO26関連 第28週採取分 O26 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。

	第27週採取分 (7.1～7.7)	第28週採取分 (7.8～7.14)	第29週採取分 (7.15～7.21)
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	0件	0件
RSウイルス	0件	0件	5件
アデノウイルス	0件	3件	1件
エンテロウイルス	0件	1件	1件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群											総数(人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2013年 第27週	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
第28週	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
第29週	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第27週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(4.05)、岐阜県(0.55)、長崎県(0.36)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は511例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約83%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は増加した。佐賀県(2.65)、福岡県(1.25)、沖縄県(1.24)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は3週連続で減少した。鳥取県(3.32)、新潟県(2.85)、山形県(2.67)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。大分県(10.36)、宮崎県(8.89)、愛媛県(6.95)が多い。**水痘:** 定点当たり報告数は3週連続で減少した。石川県(1.66)、島根県(1.65)、宮崎県(1.58)が多い。**手足口病:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。大分県(17.19)、鳥取県(13.42)、山口県(12.96)が多い。**伝染性紅斑:** 定点当たり報告数は増加した。富山県(0.97)、新潟県(0.56)、宮城県(0.34)が多い。**百日咳:** 定点当たり報告数は減少した。鳥取県(0.11)、岡山県(0.11)、沖縄県(0.09)が多い。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。熊本県(5.74)、岡山県(4.80)、徳島県(4.61)が多い。**流行性耳下腺炎:** 定点当たり報告数は増加した。福井県(1.18)、山形県(0.93)、福島県(0.84)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は3週連続で減少した。宮城県(2.25)、富山県(2.00)、福島県(1.57)が多い。